

みなとが変わると日本が変わる～21世紀の活力はみなとから～

高松港ニュース

—高松港湾・空港整備事務所だより—

2018
秋号

<No.197>

CONTENTS

- 神田所長より「ご挨拶」
- 「美讃」一般公開(10/19)のご案内
- 西日本豪雨対応
- 朝日地区浚渫工事
- イベント情報等



国土交通省 四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所

高松港朝日地区での浚渫工事



グラブ式浚渫船による浚渫



起重機船

土運船

起重機船による浚渫土砂の揚土

備讃瀬戸航路での浚渫工事



ポンプ式浚渫船による浚渫



ポンプ式浚渫船

土運船

「ご挨拶」

このたびの平成30年7月豪雨、台風20号、台風21号、および、北海道胆振東部地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今年の夏は「酷暑」と呼ぶにふさわしいほどの気温の高さと災害の多さが特徴的でした。なかでも台風が発生はかなり多く(8月末時点で21個。気象庁のデータによると、8月末時点で1950年以降3番目に多い「最多は1971年の24個」)、四国でも8月末から9月にかけて20号、21号と連続して上陸したのは記憶に新しいところです。

平成30年7月豪雨では瀬戸内海に大量の漂流物が流れ出し、事務所所属の海洋環境整備船「美讃」(びさ)が連日出動し、それらの回収に取り組んだところです。

あまりにも漂流物の量が多いため、香川県庁や関係漁協等からの情報提供を頂くと共に、四国地方整備局所有の防災ヘリ「あいらんど号」による情報収集を行い、近隣事務所から海洋環境整備船「みずき」(小松島)、「海和歌丸」(和歌

山)の応援を受け、また(一社)日本埋立浚渫協会派遣の起重機船と連携し、さらには漂流物の陸揚げ地点を臨時に設置(観音寺港三本松港)した上で平年の5倍程度の量の漂流物の回収を行いました。

また、近隣の松山港湾・空港整備事務所と連携し、取水場の被災により断水が発生していた愛媛県上島町の岩城島まで飲料水を支援物資として港湾業務艇「さんせと」で運搬いたしました。

今回の災害対応につきまして、この場を借りて関係者各位のご支援・ご協力に深く感謝する次第です。

この最新号がみなさまのお手元に届く頃には、気温も下がりがすっかり秋めいた気候になっていくかと思いますが、統計データによると10月でもまだまだ台風が発生し四国地方に近づく可能性があります。準備や対応に万全を期したいと考えております。

高松港湾・空港整備事務所長

神田 忠士



高松港朝日地区航路(-12m)浚渫工事

高松港湾・空港整備事務所では、平成17年度より、高松港朝日地区国際物流ターミナル整備事業を実施しています。現在までに岸壁（水深12m）耐震、泊地（水深12m）が完成しています。

現在、実施している航路（水深12m）の浚渫は、平成25年度より工事を行っています。

浚渫には、グラブ式浚渫船を使用します。浚渫作業は、グラブ式浚渫船のGPSを使い作業区域内に入っていきます。そして、浚渫する位置にスパッドを使い停船します。（スパッドとは、船の移動を止めるために、船から海底面に突き立てる柱状の構造物です。写真の赤丸部分がスパッドです。）

浚渫位置に停船した後、グラブバケット（写真の緑丸部分がグラブバケットです。）で海底の土砂をつかみ、水深12mまで掘り下げます。つかんだ土砂は、土運船（土砂を運ぶ船）に積み込み観音寺港の埋め立て地まで運びます。

こうした作業を繰り返して、浚渫作業は行われていきます。



▲工事の様子

作業区域となつている航路内は、多くの船が航行しています。安全を第一とし、無事故で工事が完了しました。ご協力いただいた関係各社にお礼申し上げます。



「美讃」による西日本豪雨対応

平成30年7月豪雨に伴い、瀬戸内海に河川から大量の漂流物が流出しました。

海面を漂流する木材やゴミは海を汚すだけでなく、航行船舶への衝突やスクリューに巻き付くなどして、船の安全を脅かします。

航行船舶の安全確保や地元の要請に因應するため、当事務所配備の海面清掃兼油回収船「美讃」により、瀬戸内海の漂流物回収を行いました。

また、7月18日から20日の3日間は観音寺港を基地港に、特に漂

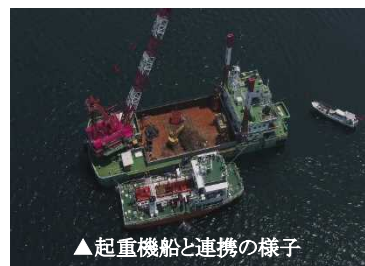
流物が目立つ庄内半島周辺（香川県西側）の海域で、一般社団法人日本理立浚渫協会の起重機船と連携し、作業の効率化を図りました。

豪雨以降の回収量は、近年の7月期と比較して約3倍、年間回収量とほぼ同量である約880m³（約200t）を回収しました。

海面清掃兼油回収船「美讃」は、漂流するゴミや油の回収作業を日々実施し、美しい瀬戸内海の環境や安全を守るよう努めて参ります。



▲回収の様子



▲起重機船と連携の様子



イベント情報

2018宇多津秋の大収穫祭

- 【日時】11月3日（土）9時～16時、4日（日）10時～16時
- 【場所】宇多津町浜二番町
- 【内容】農産物・海産物・特産品・商工品等販売
その他イベント各種
- 【問い合わせ先】宇多津町まちづくり課
TEL:0877-49-0860

せとしるべ20周年記念イベント

- サンポートのシンボルガラス張りの赤灯台「せとしるべ」（正式名称：高松港玉藻防波堤灯台）は、平成30年11月に点灯開始から20周年を迎えます。
- 【日時】10月20日（土）10時～15時
 - 【場所】サンポート（高松港防波堤先端）
 - 【内容】赤灯台一般公開（灯台内部の見学）
 - 【問い合わせ先】高松海上保安部 交通課
TEL:087-821-7012



海面清掃兼油回収船

「美讃」一般公開

★見学は事前申し込み不要・無料

- 【日時】10月19日（金）10:00～15:30
（最終受付15:00）
- 【場所】高松港サンポート（大型旅客船ふ頭横）
- 【内容】浮遊ゴミや浮遊油を回収する「美讃」を一般公開します。
 - ・船内見学（操舵室、作業甲板）
 - ・パネル展示
 - ・船員服試着&記念撮影
- 【問い合わせ先】高松港湾・空港整備事務所 企画調整課
TEL:087-851-5524



▲海を浮遊するゴミや油を回収する「美讃」



▲「美讃」一般公開の様子

●高松港湾・空港整備事務所

〒760-0011
高松市浜ノ町72番9号
TEL087-851-5522
FAX087-826-1210

●坂出港分室

〒762-0002
坂出市入船町1-5-26
TEL0877-46-0311
FAX0877-45-4689



国土交通省・四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所

【ホームページアドレス】

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

お気軽にアクセスしてください
皆さんからのお便りもお待ちしています。

『海とみなとの相談窓口』全国共通フリーダイヤル

おーいによくなれみなと
0120-497-370

受付時間*：9:30～12:00と13:00～17:00
（土・日・祝祭日・年末年始を除く） *一部の地域を除きます。

